

国家の自主は、チュチュ思想と自力更生の旗をかかげる人類の権利

アフリカ・チュチュ思想研究委員会副理事長
タンザニア、セント・オーガスティン大学教授
フランシス・ファニユエル・リモ

民族自主は人類の権利であります。

われわれはチュチュ思想の旗印を高く掲げて朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を慶祝しています。

1948 年 9 月 9 日は歴史の新しい時代、人類の自主時代を開いた偉大なチュチュ思想を創始した金日成主席の指導のもとに朝鮮民主主義人民共和国が創建された日であります。

朝鮮は植民地統治の時期、植民地支配によって立ち遅れて貧困であり、搾取され、抑圧されました。

人民の自主偉業は金日成主席によって開拓され、発展途上諸国の歴史発展の要求に即してチュチュ思想を深化発展させた金正日総書記と金正恩総書記の指導によって成功裏に継承されました。

朝鮮民主主義人民共和国は帝国主義者の反社会主義策動に反対して闘争し、人民大衆中心の社会主義を擁護し発展させ、自主性のための人類の力強い闘争を呼び起こしました。チュチュ思想が明らかにしたように人類の歴史は人民大衆の自主性を実現するための闘争と創造の歴史であります。

チュチュ思想は、人民大衆が自分の運命の主人であり、自分の運命を開拓する力も人民大衆にあるという真理を明らかにしました。自主時代は抑圧され、蔑まれていた人民大衆が社会の主人になって自分の運命を自主的に、創造的に開拓する歴史の新しい時代であり、植民地諸国での民族解放の新しい歴史を開きました。

植民地諸国での民族解放闘争はチュチュ思想の旗印のもとに朝鮮から起こり、世界の他の植民地諸国へと展開されました。アフリカ諸国は民族的独立を収めるための解放闘争や民主闘争で勝利を収めました。

民族的独立を収めるための闘争でのこの勝利は人民大衆の自主性を実現するための闘争のはじめでありました。国家の政治的自主性を確執したアフリカ諸国は民族自主のための国家的な民主主義闘争または解放闘争の連続として自立的民族経済を建設すべきです。

アフリカ諸国では植民地統治が残した立ち遅れと貧乏、アフリカ諸国に対する新植民地主義的搾取はアフリカ諸国における民族自主が現在直面している問題です。

帝国主義者は「自由」と「民主主義」、「人権擁護」と「平和」を提唱してアフリカ諸国の内政に干渉しており、アフリカ諸国を自らのいわゆる援助と「協力」で経済的に従属させています。

発展途上諸国は人類の権利であり、自主性の実現の礎であるチュチェ思想の旗印を高く掲げて人民が主人となり、人民の自由と権利が保障される自主的で自力更生する新しい国を建設すべきです。

まさにここに、アフリカ諸国で帝国主義侵略と搾取に反対し、人民の自由を保障するための進路があります。

アフリカに自主的で繁栄する国家を建設することは自主性と真の発展を念願するアフリカ人民の一致した願いです。

チュチェ思想とともに自主性のための闘争で朝鮮民主主義人民共和国が積んだ経験はアフリカ諸国にとって社会経済的発展のための政治における民族自主の実現で必要です。

チュチェ思想研究普及は人々をして自分の運命の主人になって独立国家を建設すべきであるという自主的な思想意識を植え付ける上で重要であります。

金日成主席は、われわれは人民の中に入って彼らをチュチェ思想で武装させ、チュチェ思想の旗印のもとに一つの政治的精力に団結させなければならないと述べました。

アフリカ諸国が自主的な国家発展をなすためには自力更生の原則に基づいて自立経済を建設すべきです。

それは、経済が政治的独立の物質的基礎であるからです。アフリカ諸国は平等と互恵の原則で他の発展途上国と協力すべきです。

他の国との経済関係は自力更生する民族経済を建設し、強化することに目的を置くべきです。

アフリカ諸国は国の自主的発展のために人民の力と資源に依拠する集団的自力更生の原則で発展途上国間の南南協力を通じた経済的協力と交流を強化すべきです。

繁栄する自主独立国家を建設するために発展途上国は帝国主義に反対してたたかうべきです。帝国主義に反対する闘争は帝国主義者の政治的・軍事的干渉と文化のおよび経済的浸透に集中すべきです。

帝国主義諸国の反社会主義策動は社会主義朝鮮民主主義人民共和国を孤立圧殺させて発展途上諸国において社会主義の抹殺にその目的があります。朝鮮民主主義人民共和国と発展途上諸国の進歩的人民はチュチェ思想の旗印のもとに人類の権利である民族自主を実現すべきです。

1960年代と1970年代にアフリカ大陸では大きな政治的変化が起こりました。植民地統治に反対する民族解放運動と民族民主主義運動が行われ、政治的に自主的な民族政府

を樹立しました。ガーナは 1957 年に政治的自主性を獲得した初のアフリカ国でした。南部スーダンが 2011 年 7 月に政治的自主性を獲得した最後のアフリカ国でありました。民族自主はアフリカ人民の権利であります。朝鮮民主主義人民共和国は 1970 年代に多くのアフリカ諸国の政治的自主性のための解放闘争を支持し援助しました。

アフリカで新植民地主義は人類の権利である民族自主に大きな脅威となります。アフリカ人民は自主性の原則で団結して新植民地主義に反対してたたかうべきです。

個々の主権国家はアフリカ諸国の発展を抑制し抑圧して屈辱的にしようとする新植民地主義に反対して民族自主を擁護しなければなりません。

資本家はアフリカ諸国が植民地政府から政治的自主性を獲得した後も相変わらず植民地主義の搾取方法でアフリカ諸国を侵略し、略奪しています。

愛国的人民はアフリカ諸国の民族自主を固守しなければなりません。

民族自主の終局的目標は人民大衆を自然と社会、自分の運命の主人に作ることです。

民族自主は新植民地主義によって危機に陥っています。このような状況下で愛国的人民はどうかしてでも必ず民族自主を固守しなければなりません。

したがって国家活動において自主性を堅持するのは現時代の要求に符合されるもっとも正しい政策となります。

人類歴史が人民大衆の自主性のためのたゆまない闘争の歴史であるから自主性を擁護するのは人類にとって必須的であります。この哲学は民族自主を固守するのは社会的存在である人民大衆の絶対的な要求であり、譲渡できない根本権利であることを正確に明らかにしています。

チュチェ哲学によると人間は自主性を生命とする社会的存在であります。したがって人々は自分の民族自主を固守すべきです。民族自主を擁護するためには革命と建設で提起されるすべての問題を自分の独自の判断によって決心し、責任を持つべきであることを意味します。

アフリカ諸国が直面しているもっとも厳しい問題は主権を強固にし、固守する問題です。個々の国にとって主権擁護は一つの義務であります。

主権国家は財貨と領土、人口などでの差に関係なく主権国家と完全性を守り、他の主権国家と尊重地位と平等関係を維持すべきです。

したがってすべてのアフリカ諸国は民族自主擁護の革命的原則を守るべきです。

自立的民族経済は民族自主を強固にするための必須的条件であります。

アフリカ諸国は自力更生の精神を持って、また自体の資源を利用して自立的民族経済を建設するために闘争すべきです。経済的自立は一つの民族の真実で自由な発展を保障

するための政治的自主独立の物質的基礎であります。一つの国の自主性は他国に対する経済的依存によって蹂躪されるようになります。

経済的依存は一つの国を従属的な地位に引き下げるようになり、該当の国家間の経済的および政治的不平等を招くようになります。アフリカ諸国は自主性の原則で互いに協力すべきであり、個々の国は自立的民族経済を建設すべきです。

アフリカ諸国は個々の国の要求を実現し、民族自主を強国にする原則で経済的に、互いに協力すべきです。

アフリカ諸国が直面している難関は新植民地主義によるたゆまない略奪と搾取であります。外国独占企業はアフリカ諸国の経済を世界資本主義経済体系に縛り付けたことによって原料と鉱物、燃料源泉を間接的に支配しています。

個々のアフリカ諸国は新植民地主義によってアフリカにもたらされた未発達問題の他にも国内問題も抱えています。

個々のアフリカ諸国は立ち遅れを克服する問題、人的および自然富源を正しく、十分に利用できない問題、貧窮と実業、食糧不足、人口の急速な成長、遅い経済発展などの問題を持っています。

しかし、アフリカ諸国は互いの経済的協力を通じて発展できる大きな潜在力を持っています。これは個々の国の自然および人的富源を利用し、互いの経験と技術の交換を通じて成し遂げるべきです。

アフリカの民族自主のための経済発展戦略

アフリカ諸国は農業を近代化し、貧窮に反対してたたかうべきです。この戦略は農民の主導権を啓発させて農業生産に科学技術を導入し、信用設備を利用して灌漑体系を構築し、農業を志願するためのインフラを建設することにその目標があります。

アフリカ諸国は国内および輸入した物的・人的資源を利用して国内および輸出市場に必要なものを生産する工業部門を創造し、発展させなければなりません。アフリカは対外依存を減らして、国内源泉により多く依存すべきです。

これは、アフリカの個々の国が自分の経済問題を自体で決心し、自分の国の利益に即してその決心を実現すべきであることを意味します。この戦略の目標は国内源泉を利用して自立的な経済発展を成し遂げることにあります。

アフリカ諸国はインフラと貿易、工業などの参加国の互惠を保障する共同の利益分野を発展させるために互いの協力を奨励すべきです。

アフリカで新植民地に反対する闘争の目的は民族自主を獲得し、堅持することです。しかし、一つの国が経済的に自立できなくて資本主義の新植民地主義国からの経済的支援に依拠すると、その国の政治的自主性は無意味なことになります。

なぜなら、これが植民地統治の従属の形態が新植民地主義という他の形態の従属への変化を意味するからです。富裕な帝国主義諸国へのアフリカ諸国の従属と依存はアフリカ諸国の主権を蹂躪するでしょう。

アフリカ諸国は反新植民地主義の発展政策を持って、チュチェ思想の旗印を高く掲げて朝鮮民主主義人民共和国の成果を見習うべきであり、アフリカで新植民地主義に反対して団結してたたかうべきです。